



参考資料

近畿地方整備局

事業評価監視委員会

平成23年度第1回

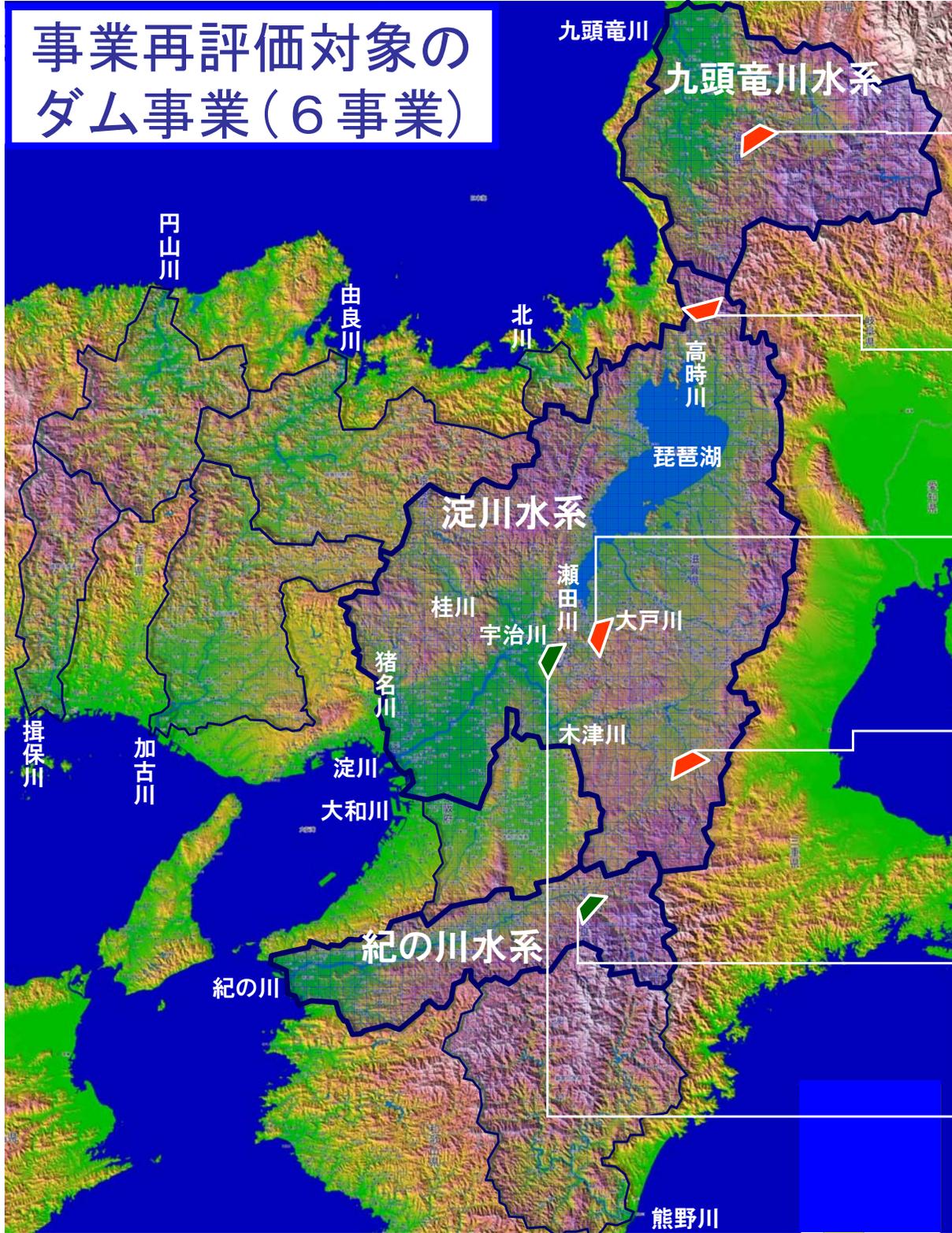
平成23年度 第1回事業評価監視委員会

【ダム事業の再評価について】

平成23年7月28日

近畿地方整備局

# 事業再評価対象の ダム事業(6事業)



(国土交通省)

**足羽川ダム**

前回評価  
(整備計画): H19/03

経過: 5年  
(経過措置適用)

(水資源機構)

**丹生ダム**

(国土交通省)

**大戸川ダム**

前回評価  
(整備計画): H21/03

経過: 3年

(水資源機構)

**川上ダム**

(国土交通省)

**大滝ダム**

前回評価: H20/07

経過: 3年

**天ヶ瀬ダム再開発**

前回評価  
(整備計画): H21/03

経過: 3年

検証対象

検証対象外

# ダム検証について

平成21年10月9日

平成21年度におけるダム事業の進め方などに関する  
前原国土交通大臣(当時)のコメント(抜粋)

1. 国及び水資源機構が実施している56のダム事業のうち、既存施設の機能向上を行っている8事業を除く48事業については、今後、平成21年度内に、①用地買収、②生活再建工事、③転流工工事、④本体工事の各段階に新たに入らないこととし、新たな段階に入ることとなる工事の契約や用地の買収などは行わないこととする。

【事業の段階】 調査・地元説明→用地買収→生活再建工事→転流工→本体工事

## 【検証対象ダム選定の考え方】

「今後の治水対策のあり方について 中間取りまとめ」(平成22年9月)より  
(今後の治水対策のあり方に関する有識者会議)

### ★検証対象としない事業

① 既に、ダムに頼らない治水対策の検討が進んでいるもの

② 既存施設の機能増強を目的としたもの

【該当事業:天ヶ瀬ダム再開発】

③ ダム本体工事の契約を行っているもの

【該当事業:大滝ダム】

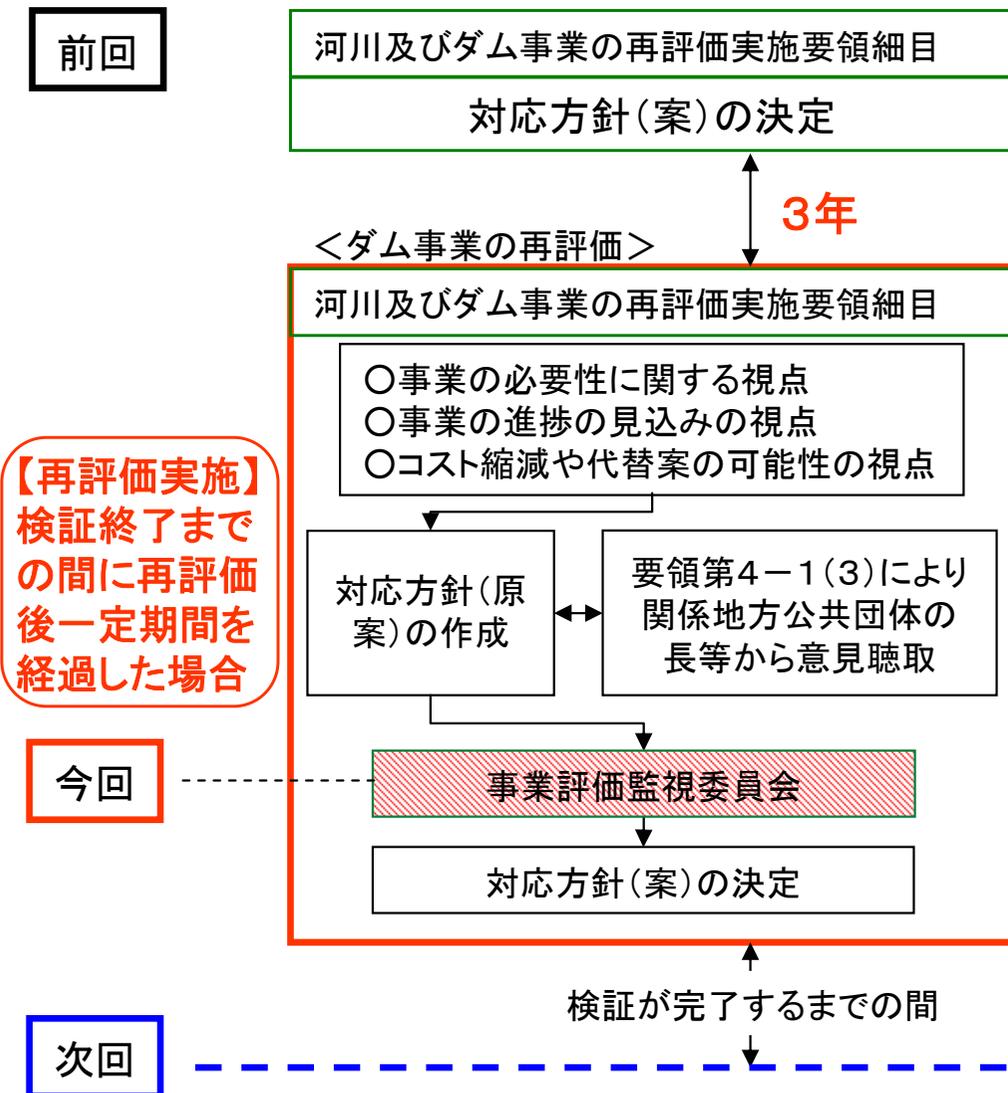
★上記に該当しないダム事業(83事業(84施設)H22.9現在)については、すべて検証の対象

【該当事業:足羽川ダム、大戸川ダム、川上ダム、丹生ダム】

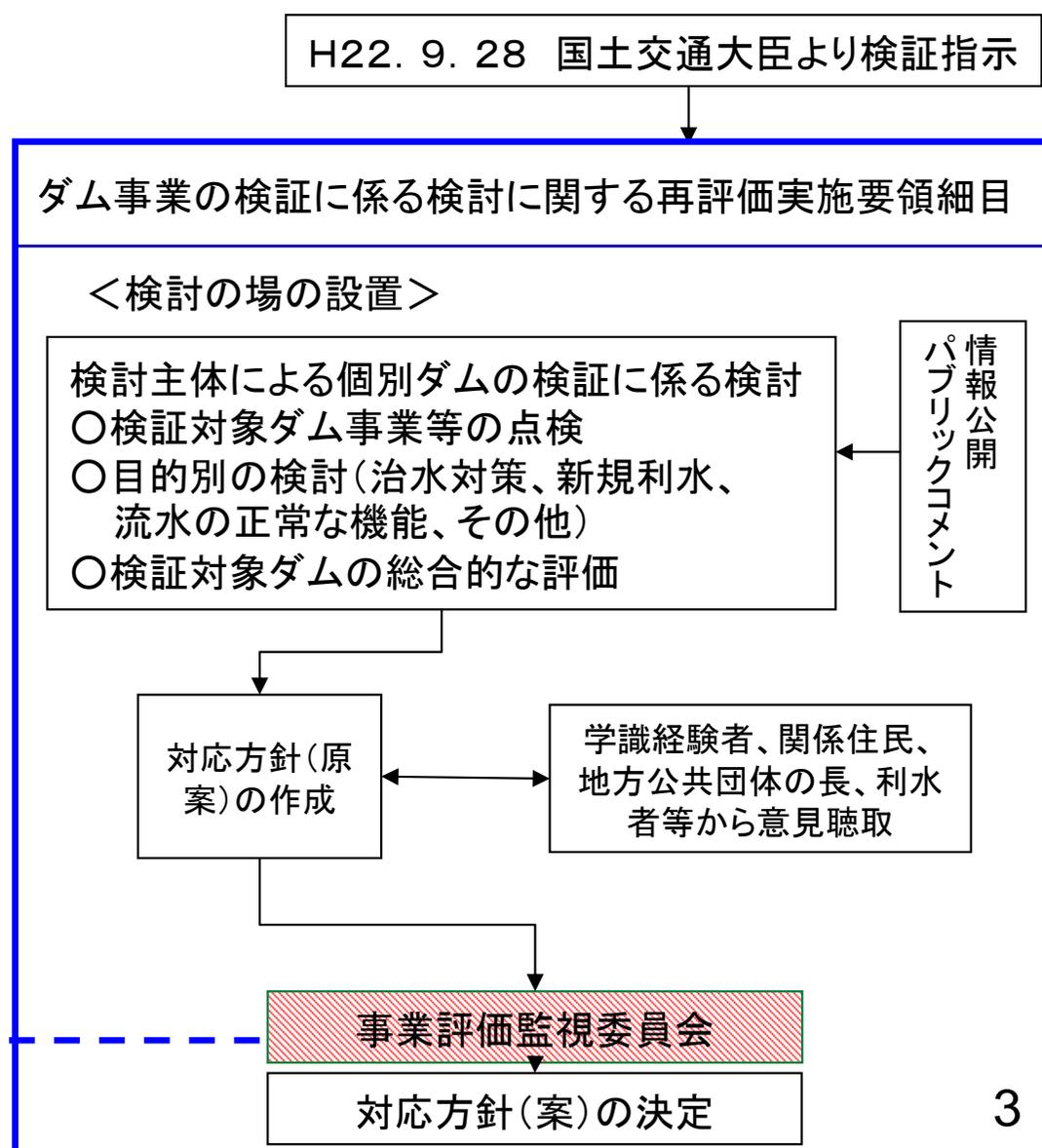
# ダム検証及び事業再評価のスケジュール

【ダム検証】検証の検討内容を踏まえ作成したダム事業の対応方針の原案について、改めて本事業評価監視委員会で「事業の継続または中止の方針」に関し意見をお聴きする。

## 【ダム事業の再評価フロー】



## 【ダム事業の検証フロー】



# 検証対象ダムの再評価の視点

検証対象事業は、

「検証が終了するまで、用地買収、生活再建工事、転流工工事、本体工事の各段階に新たに入ることとなる予算措置を講じない」

こととしていることから、

**新たな段階に入らず、現在の段階を継続することの妥当性**

についてご意見をお聴きしたい。【各事業の現在の段階】

